

(様式2)

岡 人 材 第 3 9 号

令 和 7 年 8 月 8 日

保健福祉企画総務課長 様

公益財団法人 岡山市シルバー人材センター

理事長 信 木 修

岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員の
意見等について（報告）

下記施設整備事業について、令和7年7月24日岡山市くらしやすい福祉のまちづくり設計支援委員（以下「委員」という。）に意見を聴いた結果を報告します。

記

事 業 名 (整備概要)	(仮称) 青江事業所整備事業	
委員からの意見	委員の意見に対する回答	
(案内板・誘導表示関係) ・ 30号線から距離があり分かりにくいので公共交通機関利用者が分かるよう誘導表示を ・ 歩いてきた人が敷地内で車と交錯しない配慮が必要と思うので、内部の動線、車の動線も含めて、しっかりと検討いただきたい ・ 車が多く事故が心配、特に夜は暗い場所なので、開所時間やアクセス面の周知徹底を (駐車場関係) ・ 台数は減っても、駐車枠を少し広めに取り、高齢者の利用に配慮してほしい ・ 敷地の幅が10m程しかなく、入る車と出る車がすれ違えるのか、事故も懸念される ・ 資材トラックは入ってこないのか、奥に駐輪場があると転回に支障はないのか ・ 資材搬入車が入ってきても回転スペースがなく転回できない。安全管理をしっかりと考えないと構内での事故が心配される ・ 駐輪場と障害者スペースが近いので、車椅子スペースに自転車が入り込まないようゲートか柵等の設置は考えているのか	・ 検討します ・ 土地の形状も踏まえ、動線面については、しっかり検討し必要な配慮をしていきたい ・ アクセス等のご案内は分かりやすく周知していきたい ・ 検討します ・ 奥側での転回スペースの確保や、入口での待避で対応したい ・ 大きなトラックの進入は想定しておらず、軽トラ等も資材を降ろせば駐車枠に止めていただく ・ 少しでも有効にスペースがとれる工夫を検討します ・ 柵等の設置は考えておらず、車椅子スペースには自転車を止めないよう周知等の対応をしていきたい	

・ 駐輪場と障害者スペースが近く接触の可能性が高いので、分けて設置したほうがいい ・ 作業所の入口付近はなるべく広く使えるように、軽トラ等が入りきる駐車スペースを (車椅子関係) ・ 玄関出入口へのスロープは、両側に手すりをつけても車椅子が十分通れる幅を確保し、勾配も緩やかにしてもらいたい ・ スロープの幅は 玄関との段差は 玄関扉からの段差は ・ 車椅子の方は玄関からしか作業所には入れないのか、緊急時にも車椅子で作業所から外へは出られないという認識でよい ・ 何かあったら職員が介助対応すれば大丈夫とのことだが、15cm程の段差であれば介助は必要ないことを認識しておいてほしい ・ 本当にいざとなった時にはなかなか対応できない、せつかく作るのなら段差のないよう考えてもらいたい ・ 作業所の出入口は駐車場から台車が出入りできるよう段差のないよう検討してもらいたい (建物関係) ・ 建物内は土足で大丈夫か、トイレも土足のままでいいのか ・ 会議室は出入口が一つしかなく、反対側に非常口を設けてほしい ・ 非常口ができてフェンスがあると避難できないので隣の敷地から逃げられるように ・ 非常口は2か所以上が基本と思うが消防法上問題はなかったのか ・ 非常通路の確保は、より強く検討してほしい (多目的トイレ関係) ・ シャワーはオストメイトの代わりなのか ・ オストメイトをした元気な高齢者もいるので目を向けてもらいたい ・ ケアクリックはできればお湯の出るタイプのものにしてもらいたい ・ 掃除道具の置き場になりやすいので、そうならないよう気をつけてほしい	・ どの位置が一番安全かを検討します ・ ご意見を参考に車の転回スペースも含めて検討します ・ 土地の形状から通路幅も広くないため、手すりについて動線上問題ないかも含め、また、勾配も車椅子の出入りに支障のないよう考えたい ・ 敷地幅が1.5m程しかなく可能な範囲で広めに検討したい ・ 数mm程の段差はあるが玄関を入ると段差はない ・ 車椅子での出入りはそのように考えており、緊急時に車椅子の方が単独で作業所から避難することは想定していません ・ 万が一の場合の運用面での訓練やご意見を踏まえ対応を考えていきたい ・ 施設面で、どこまでできるか検討します ・ 実際に作業する会員とも協議しながら、ご意見を踏まえ必要に応じて検討します ・ 全館土足のまま上履きに履き替えることはありません ・ 避難経路として非常口を検討中です ・ 岡山市の土地なので、車は通れませんが、通路として人は通行できます ・ 建築確認等の手続きは終わっており、基準はクリアしていると考えるが、再度確認します ・ 検討します ・ 水で洗いたい時に便器に流すと聞いている ・ ご意見を踏まえ幅広い視点で検討してみます ・ 検討します ・ 掃除は会員で行う想定ですので道具置き場にはならず、道具庫は男子トイレ横に確保します
---	--

・ちょっとした物を置くための棚、ワゴン、フック等を検討してほしい ・土足なので靴脱ぎ場や着替えるためのマットだけでも置いてほしい ・ハンドドライヤーの位置がドア付近にあり、扉の収納に支障があるのでは ・洗面台の強度は、手すり替わりや、手足の弱い方がもたれたり乗りにかかる可能性もあるので、それらを踏まえ確認をお願いします (一般トイレ関係) ・高齢で足腰が弱った方のためにも、手すりがあった方がいい ・女子トイレの2か所の個室の手すりは、できれば左仕様と右仕様の別々に取り付けた方がいいと思う ・男子トイレにもできれば手すりを、小便器、手洗い器にも1箇所ずつ ・トイレブースの扉が内開きだと、中で倒れたら開けられないので外開きにしたい方がいい ・男子トイレ入口のドアが開き戸なので、片引き戸にしてもらいたい (緊急呼出ボタン・警報器関係) ・一般トイレには呼出ボタンは考えていないと説明があったが、高齢者はいつ血压が高くなり倒れるかわからない、手すりも併せて検討を ・トイレ内でふらつき倒れたら大声も出せないと思うので、非常ボタンは重要なポイントになる、積極的に検討をお願いしたい ・障害者の利用というより高齢の方がどうかを重点に考え、非常ボタンも無線式のものでも数万円で設置できるので是非つけてもらいたい ・お年寄りの方を中心に考え、音以外にも確認できる通報システムを強く要望したい ・歳をとると気付かないので、警報器は視覚で確認できるものがない ・非常ベルはお年寄りには聞きとりにくく、できればフラッシュとかのほうがいい ・耳が遠くても元気な方や、オストメイトしていても働く方が利用するので、障害者のためではなく柔軟に考えていってほしい	・ご意見を参考に検討します ・ご意見を参考に検討します ・ハンドドライヤーは手洗い台の横への設置を想定しています ・身体を支えるだけの強度が必要とのご意見を踏まえ、強度について確認します ・検討します ・ご意見を参考に検討します ・検討します ・検討します ・開き戸は極力スライドドアにしたいと考えています ・ご意見を踏まえ検討します 合わせて何かあれば人的対応も有効と考えています ・ご意見を踏まえ検討します ・高齢者の利用頻度が高いので、ご意見を参考に検討します ・検討します 機器だけでなく人的対応の両面から考えたい ・検討します ・検討します ・ご意見を踏まえ考えたい
---	---